

番号	対象年齢A/B	形式	ジャンル	タイトル	問題文	正解選択肢	解説
1	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざの「雨降って地固まる」とは、取り返しのつかないことをした、後悔したという意味である。○?×?	×	「以前よりも、よい状態になる」や「基礎が固まる」など、良い意味で使われることわざです。
2	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	初夢に見るとよいものを表したことわざ「一富士二鷹三〇〇〇」。〇〇〇はなすびである。○?×?	○	由来としては徳川家康が好んだ3つ、富士山、鷹狩り、初物のなすびを取り上げたとする説などいくつかありますが、はっきりとはわかりません。
3	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざの「犬も歩けば棒にあたる」には、いい意味と悪い意味の2つがある。○?×?	○	「何かをしていると思いがけず良いことがある」と、「出しゃばると良くないことがおこる」という悪い意味の両方があります。
4	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	「情けは人のためならず」は、人に親切にし過ぎると良くないという意味のことわざである。○?×?	×	人に良いことをするとそれが自分にも返ってくるので、人には親切にしましょうという意味で使います。
5	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「ひょうたんからこま」の元となった話で、ひょうたんから出てくるのはくると回るコマである。○?×?	×	「ひょうたんからこま」というときの「こま」は漢字で駒と書きます。これは馬を指しています。思いがけないことがおこる、冗談で言ったことが現実となるという意味です。
6	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「鶉(う)の目鷹(たか)の目」。色んな方法を使ったけど、結局は分からないという意味である。○?×?	×	熱心にモノを探し出そうとする様子や、その目つきのことを表すことわざです。
7	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「青菜に塩」。その名のとおり、青い野菜の葉っぱに塩をかけると、しおれてしまう様子から、元気がなくなるという意味で使われる。○?×?	○	ほうれんそうなどをゆでて、塩をまぶすと、元の形とは比べ物にならないくらい小さくなることから、元気がなくなることを表しています。
8	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「かっぱの川流れ」とは、その道の達人でも、たまには失敗したり間違ったりすることがあるという意味である。○?×?	○	泳ぎが上手なかっぱでも、水に押し流されることがあるということ。「猿も木から落ちる」、「弘法も筆の誤り」と同じように使います。弘法とは書道の達人のお坊さんで、そんな名人でも間違えることがあるという意味です。
9	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「頭隠して尻隠さず」。うまく隠れることが出来なかった動物はダチョウである。○?×?	×	うまく隠れられなかったのはキジです。キジは追われると、草むらに頭だけをつっ込むという習性があります。そこから、少しの悪いところを隠したことで、すべてを隠したつもりでいるという意味のことわざになりました。
10	B)小学校高学年	○×	国語	ことわざ	ことわざ「急がば回れ」。これはもともと日本で一番大きな湖・琵琶湖の周りを回れ、という意味だった。○?×?	○	琵琶湖には強い風が吹いていたので、琵琶湖を船でまっすぐに渡るよりも、橋を渡って遠回りした方が、結局は安全で早かったそうです。急いでいるときこそ、安全で確実な方法を使うべきだという意味です。